



# グリップヒーターHG SLIM 取り付けについて E08Z51C12S1

適合車種：SUPERCUB C125 (8BJ-JA58)

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、  
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



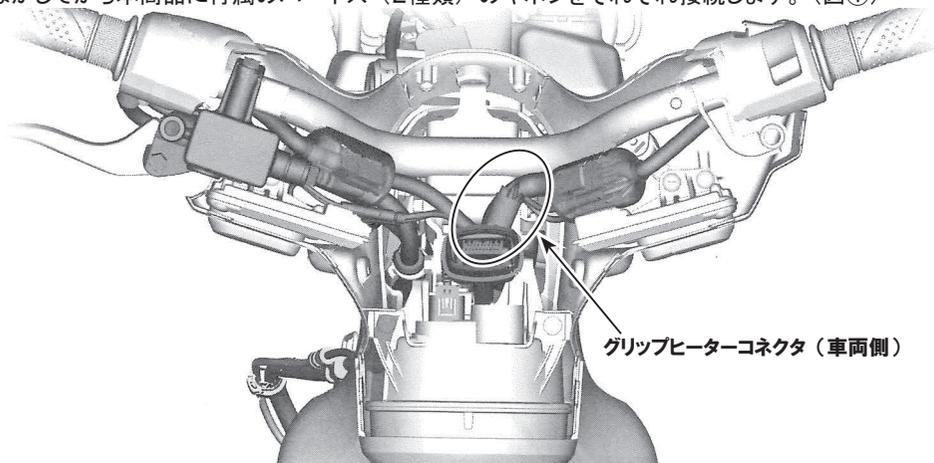
**警告** ※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な  
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

## ●接続する前に

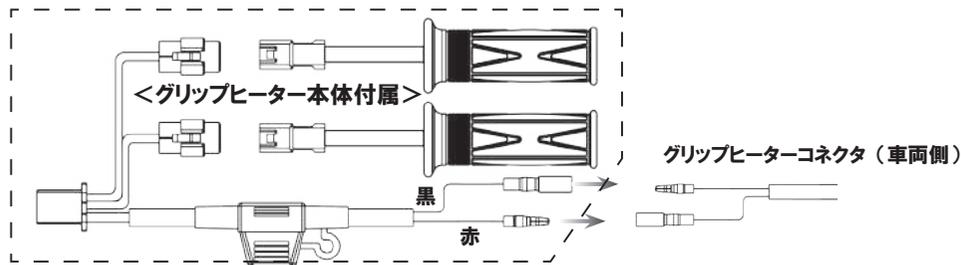
車両のサービスマニュアルを参考にしてフロントガーニッシュ、アッパーハンドルカバーなどを  
取り外します。

### ①配線の接続について

車両側のハーネスに配線テープを巻かれたグリップヒーターコネクタがあるので、配線テープを  
はがしてから本商品に付属のハーネス（2種類）のギボシをそれぞれ接続します。（図①）



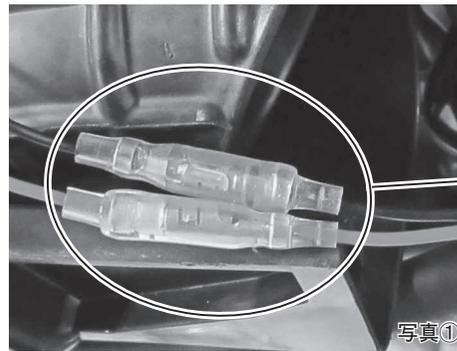
図①



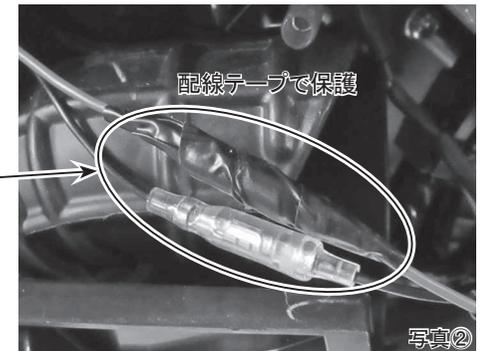
図②

電源用ハーネスを接続したら、ハーネス、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの  
動作確認をしておきます。問題無く動作すれば、グリップとスイッチは一旦ハーネスから外して  
おきます。

また、付属のハーネスとグリップヒーターハーネスを接続した部分は配線テープで保護しておきます。  
（写真①、②）



写真①



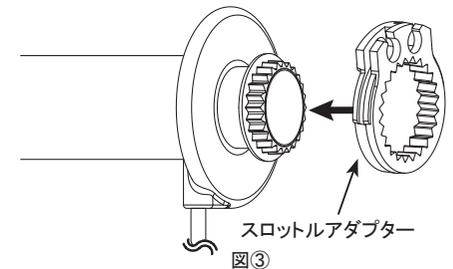
写真②

### ②左グリップの取り付け（参考例）

純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていた部分に付着しているボンドをパーツ  
クリーナーなどできれいに取り除きます。グリップヒーターの配線位置を間違えないように  
グリップヒーターを差し込みます。このとき、グリップが手で触って暖かいくらいまで仮組み  
で暖めておくと差し込みやすくなります。

### ③右グリップの取り付け

純正グリップ（スロットルパイプ）を取り外します。  
先に、グリップヒーターに同梱の樹脂スペーサーを  
ハンドルに挿しておきます。その後、同梱の  
スロットルアダプター“C”を一体型グリップヒーター  
に取り付けます。（図③）  
このとき、アダプターはスロットルワイヤー取り付け  
用の切り欠きがある側を外側にして取り付けます。  
（写真③）



いったん仮組みをして、スロットル操作、ブレーキ  
操作などを行い、各部が干渉しないかどうか  
確認します。アダプターの位置を動かして、  
適切な位置で固定します。

※スロットル操作が重いまたは全開後に手を離しても  
全閉にならない場合には、樹脂スペーサー  
を取り外してから、再度確認してください。  
（車両誤差によってはクリアランスが少なく、  
樹脂スペーサーが必要ない場合があります。）



写真③

また、本商品を取り付け後は必ず、スロットルケーブルの遊び調整を行ってください。

### ●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強く  
ねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがあり  
ますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないで  
ください。内部が変形してしまい、熱線が出てしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にした時に、グリップから出ているケーブルに負荷がかから  
ないように取り付けてください。

#### ④バーエンドの取り付け

左右共にグリップヒーターの取り付けが終わったら、バーエンドの取り付けをします。(写真④)  
純正グリップ長に対して、本商品のグリップは同じ長さなので、バーエンドを固定する際にスペーサーなどは必要ありませんが、純正以外のバーエンドを装着している場合には、別途スペーサーが必要になる場合があります。

※このとき、スロットル操作に問題が無いか確認して、スロットル全開状態から、手を離して確実に全閉に戻ることを確認してください。



#### ⑤制御スイッチの取り付け

付属している制御スイッチ用ステーを写真⑤のようにミラーアダプターとナット間に挟んで固定します。  
→このとき、操作の邪魔にならないように配線を取り回してください。



#### ⑥配線のまとめ

それぞれの取り付けが終わったら、右側グリップヒーターはスロットルケーブルに沿わせながらタイラップなどを使って固定します。(写真⑥)  
このとき、スロットル操作の邪魔にならないよう、ハーネスはある程度たるませておきます。  
→スロットルの全開、全閉の動作を行って、ハーネスに無理な力がかかっていないかどうか確認します。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

左側グリップヒーターとスイッチの配線は写真⑦を参考にしてカバー下部に沿わせながら、グリップヒーターハーネスのカブラーに接続します。  
また、配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどを使ってうまくまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに無理な力がかかっていないか、ハンドル操作の邪魔になっていないか確認します。



#### ⑦取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにして再度、グリップヒーターの動作確認をします。  
問題なく温まったら、取り外したカウル類を元に戻して取り付け完了です。

#### ●構成部品●

- ・制御スイッチ用ステー・・・1個
- ・スロットルアダプター“C”・・・1個
- ・取扱説明書・・・1部



#### ※注意※

本商品以外の社外電装部品は取り付けしないでください。(弊社製USBチャージャーも含む)  
その他の電装部品を取り付けた場合、電圧変化により、ウインカーがハイフラ状態になる可能性があります。  
ハイフラ状態のままでの走行は保安基準に適合しないので、絶対に行わないでください。

・グリップヒーター(スイッチ)の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625  
.endurance-parts.com

2021.10.19